

お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ
鳥取市政記者クラブ

会議を開催します

千代川流域における水災害に対する取り組みを考えるために
第2回「気候変動にともなう防災・減災を考える会」
を開催します

このたび、「気候変動にともなう防災・減災を考える会(第2回)」(千代川流域圏会議・分科会)を下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

記

開催日時：平成22年10月27日(水) 10:00～12:00
開催場所：鳥取河川国道事務所1階・第1会議室
参加委員：別紙委員名簿のとおり

(要旨及び背景)

近年、全国的に大規模な水災害が頻繁に発生する中で、千代川流域においても、全国的な傾向と同様に、温暖化に伴う気候変動によると考えられる集中的な降雨、潮位の上昇傾向等が見られ、今後も流域に対する水災害リスクが上昇していくことが考えられています。

こういった背景を踏まえ、気候変動にともなう水災害リスクに対する適応策(ソフト的な取り組み)について、学識経験者、地元関係者、及び関係行政機関等で考えていくことを目的として本会を7月に設立しました。

第2回となる本会議では、8～9月に千代川流域住民を対象に実施しました「**水害意識に関するアンケート**」の分析結果(概要は別紙のとおり)等を踏まえ、千代川流域における水災害への取り組み等の現状と課題を整理し、今後行うべきソフト的な対策についての方針等を検討する予定です。

本会議で、千代川沿川住民の水災害における自主防災意識(自助・共助)の向上を図り、官民一体となって「犠牲者ゼロ」に向けた取り組みを推進していきます。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL：0857-22-8435(代) FAX：0857-29-8548

副所長(河川) うえはし のぼる
上橋 昇

【担当】 河川管理課長 くにもと ちかのり
國本 哉智

【広報担当】 調査設計課長 ひめむら こうぞう
姫村 幸造

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

※取材について

会議は全て公開で実施します。会議中の撮影は可能ですが、会議の妨げにならないようお願いします。

※アンケート結果について

アンケート結果の公表については、27日の会議終了後をお願いします。

※「千代川流域圏会議」とは

「千代川を軸として地域の交流、連携を図るとともに、千代川をよりよくするための取組や地域活性化への取組を行っていくこと」を目的に平成9年に設立された会議であり、今回設立される「気候変動にともなう防災・減災を考える会」はその分科会になります。

※今後の分科会の予定は別紙1の通り

第2回 気候変動にともなう防災・減災を考える会 議事次第

1. 開 会

2. 委員紹介

3. 議 事

- ・ 温暖化による水害リスクの変化について
- ・ 水害意識アンケート調査結果の分析
千代川流域における水災害の取り組みの現状と課題
について
- ・ 適応策（ソフト的な取り組み）について 等

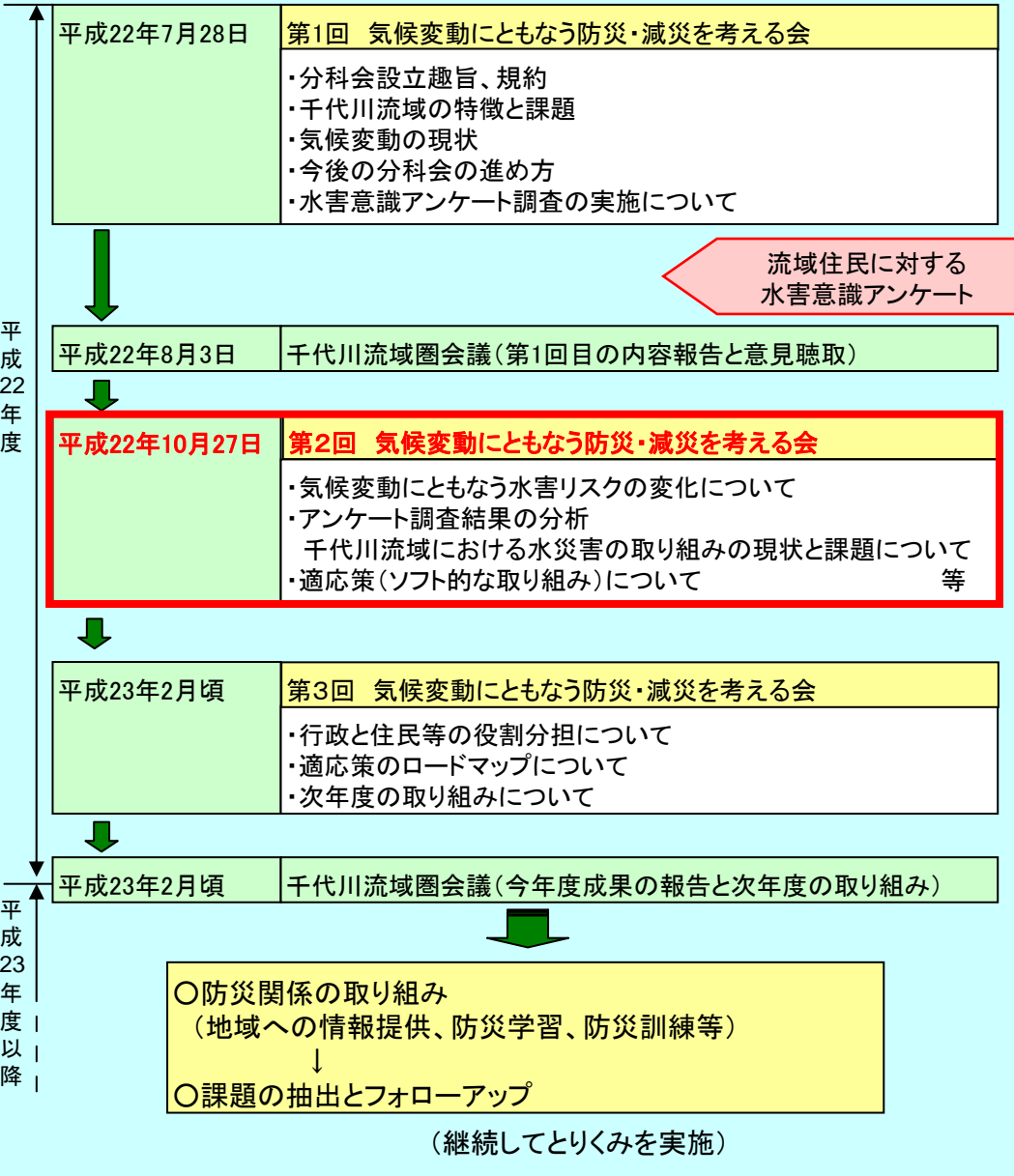
4. 意見交換

5. 閉 会

【別紙1】「気候変動にともなう防災・減災を考える会」の今後の予定及び参加委員

今後の予定

※スケジュール等は目安



気候変動にともなう防災・減災を考える会 委員名簿

気候変動にともなう防災・減災を考える会 委員名簿			
(千代川流域圏会議・分科会)			
氏名	役職等	備考	
ひのきだに おさむ 檜谷 治	鳥取大学 工学部 教授	委員長	
どい こうさく 土井康作	鳥取大学 地域学部 教授		
たになが まもる 谷永 守	鳥取地方気象台 防災業務課長		
たけもり たつお 竹森 達夫	鳥取県 県土整備部 河川課長		
たかはし とおる 高橋 徹	鳥取市 防災調整監 危機管理課長		
おだ かずとし 尾田 一壽	日本赤十字社 鳥取県支部 事務局長		
にしむら いくお 西村 育雄	鳥取市消防団 団長		
たけだ やすあき 武田 恭明	鳥取市自主防災会連合会 会長		
やまだ たてお 山田 建雄	鳥取市自主防災会連合会 富桑地区評議員		
やまね ようじ 山根 洋治	鳥取市自主防災会連合会 明德地区評議員		
まえだ まこと 前田 誠	鳥取市自主防災会連合会 大正地区評議員		
こばやし みつお 小林 光男	郵便局株式会社 八頭郵便局 局長	第2回会議より新規参加	
うえはし のぼる 上橋 昇	鳥取河川国道事務所(河川)副所長		
みちうえ まさのり 道上 正規	(財)とっとり地域連携・総合研究センター理事長	千代川流域圏会議 会長 オブザーバー	

水害意識アンケートについて(1)

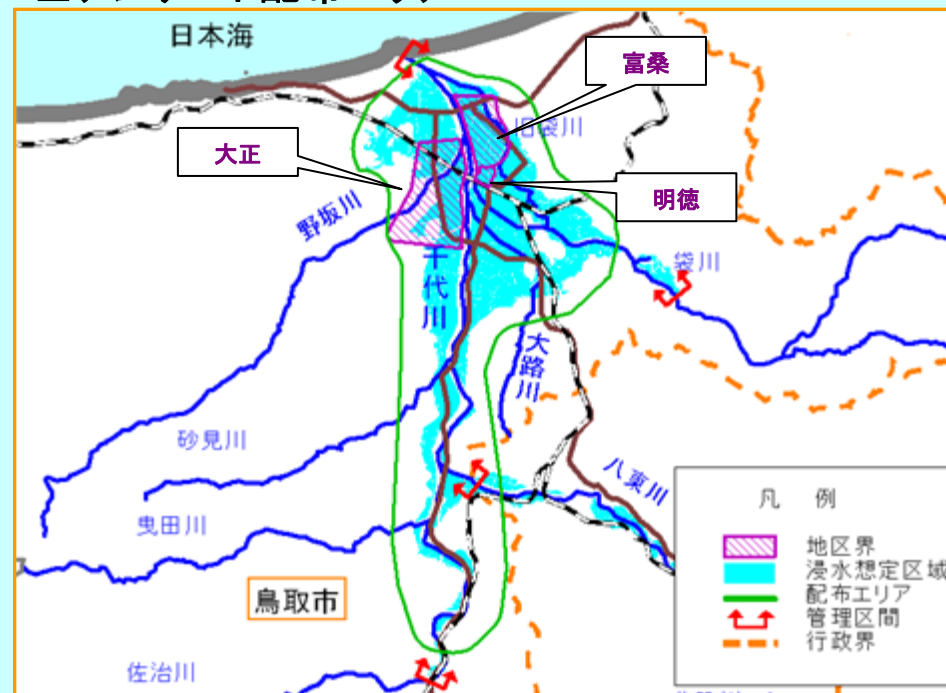
アンケート調査の目的

千代川沿川住民の水害に対する認識を把握し、今後の防災対策に役立てるため、水害に関するアンケート調査を実施した。

■アンケート調査概要

調査期間	平成22年8月16日～9月10日
調査方法	自治会を通して配布・回収 明德地区(890部) 大正地区(1,490部) 富桑地区(1,000部) その他の地区(6,700部)は、 ポスティングによる無作為配布
総配布数	10,080部
総回収数	3,134(回収率31.1%)

■アンケート配布エリア



■アンケート回収状況

配布先	配布数 (部)	回収数 (部)	回収率 (%)
明德	890	392	44.0
大正	1,490	653	43.8
富桑	1,000	363	36.3
その他	6,700	1,726	25.8
計	10,080	3,134	31.1

■対象者の属性

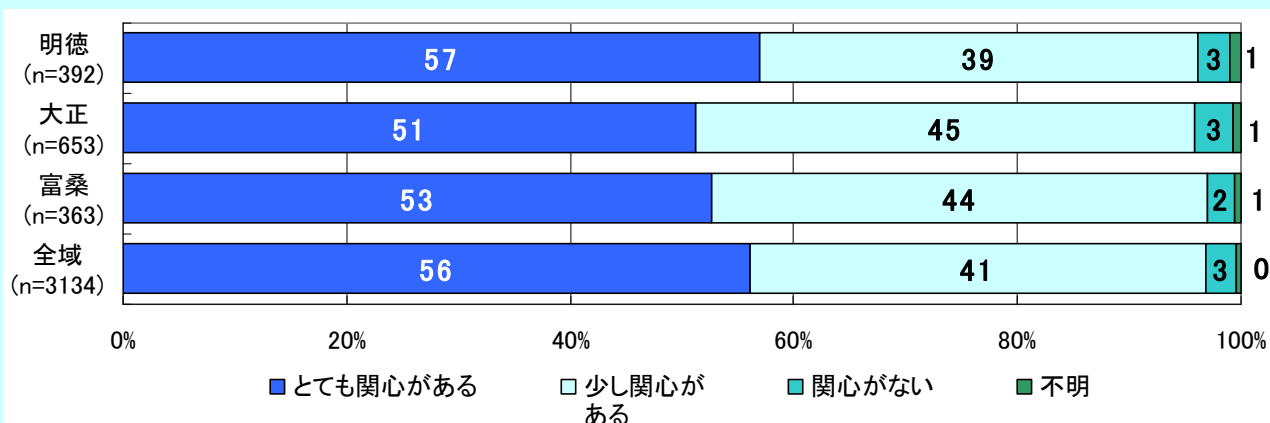
年齢	30代:8%, 40代:11%, 50代:21%, 60代:29%, 70代以上:29%
性別	男性:58%, 女性:39%
居住年数	10年未満:18%, 10～20年:15%, 20～30年:15%, 30年以上:51%
住居	一戸建て:86%, 集合住宅:12%

水害意識アンケートについて(2) (結果抜粋)

◆ 普段の備え

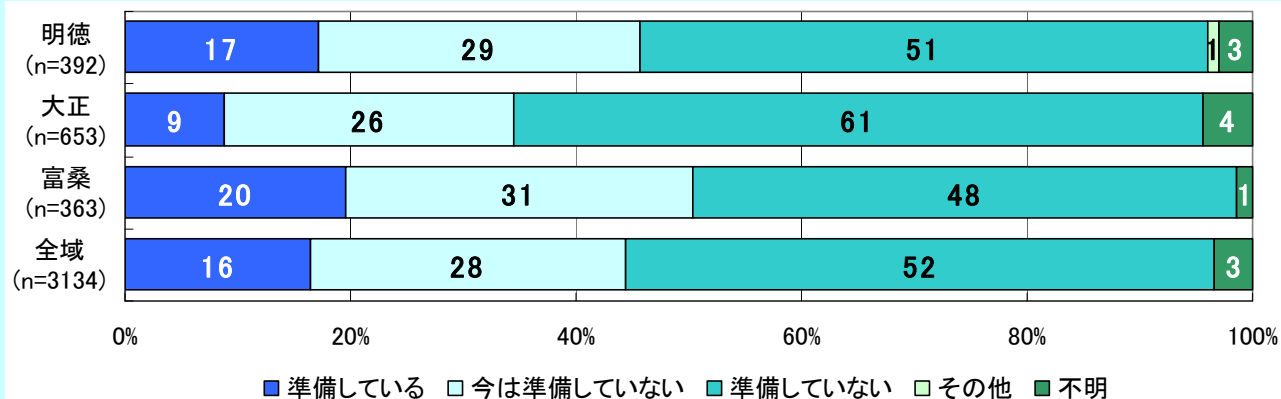
(問) 昨年は兵庫県佐用町などで大きな水害が発生しましたが、あなたは水害について関心がありますか？ 次の中から1つお答えください。

→ 水害に対して関心があると答えた人が97%



(問) あなたは、災害に備えて、非常用持ち出し品(非常用保存食、水、ラジオなど)を準備していますか？ 次の中から1つお答えください。

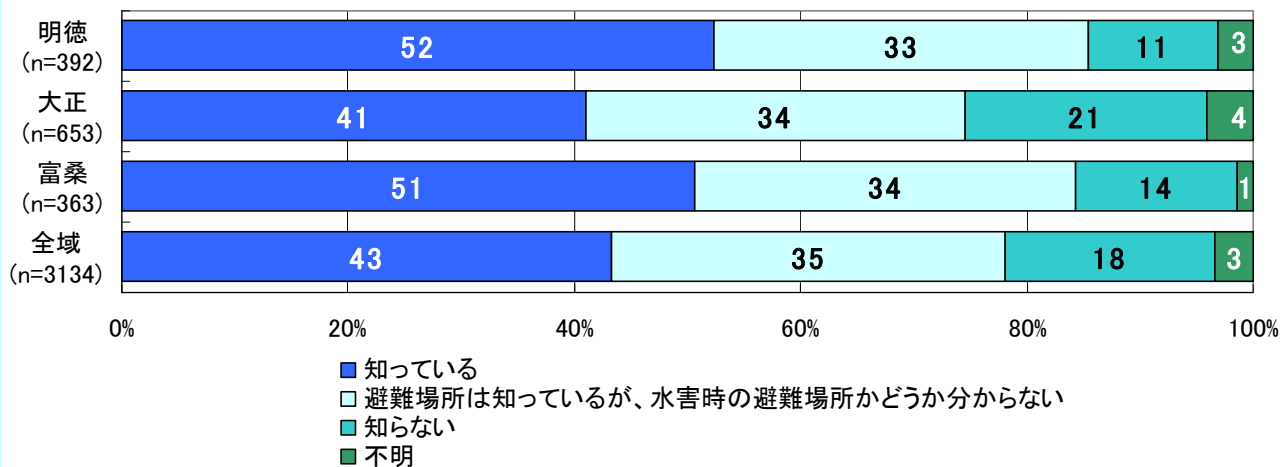
→ 非常用持出品を準備している人は16%



◆ 情報

(問) あなたは、市や町が指定した水害時の避難場所を知っていますか？ 次の中から1つお答えください。

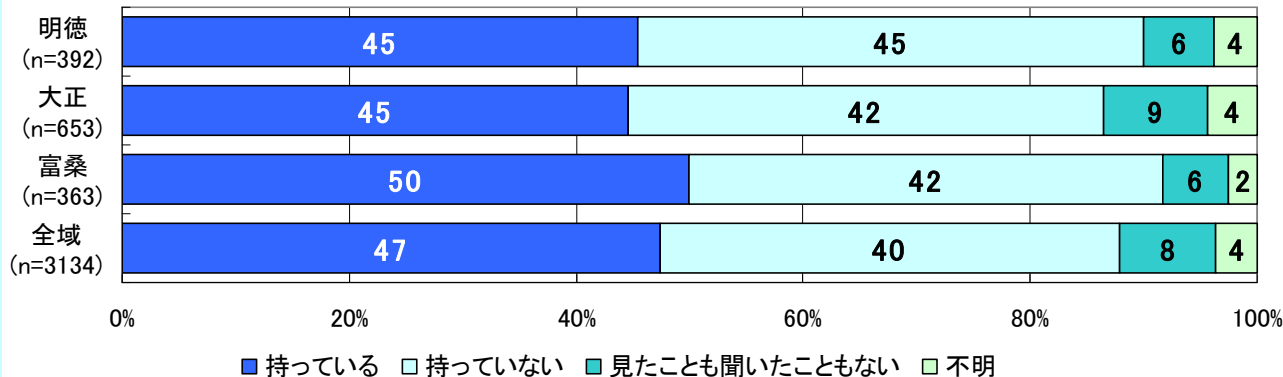
→ 水害時の避難場所を知っている人は43%



水害意識アンケートについて(3) (結果抜粋)

(問)あなたは、住んでいる市や町の洪水ハザードマップ(洪水避難地図)を持っていますか？
次の中から1つお答えください。

→ハザードマップを持っている人は47%

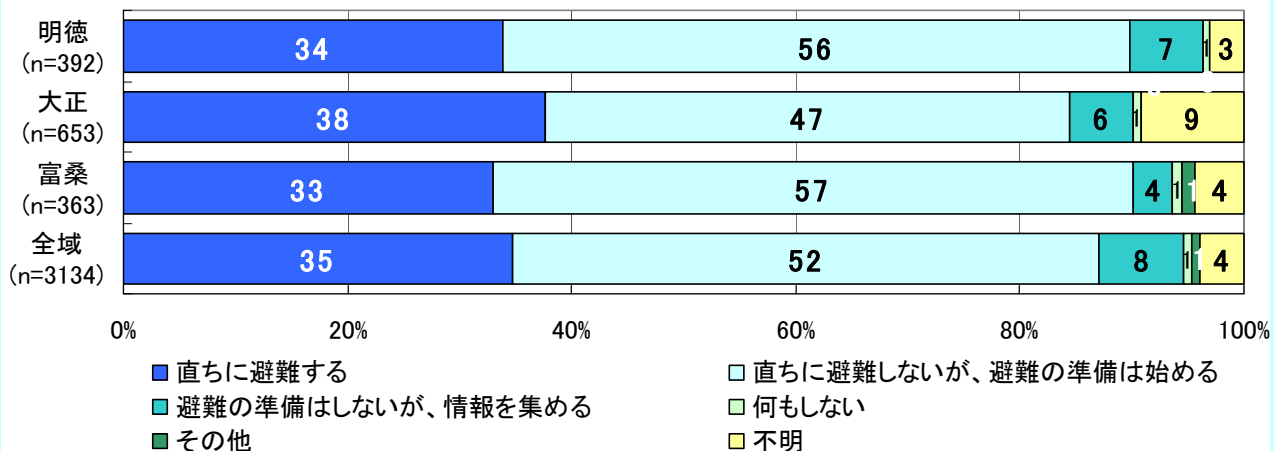


◆避難

大型の台風が九州北部を通過し、6時間後には千代川流域が暴風域に入る見込みで、既に強い雨が降り始めています。このような状況を想定して、以下の設問にお答えください。

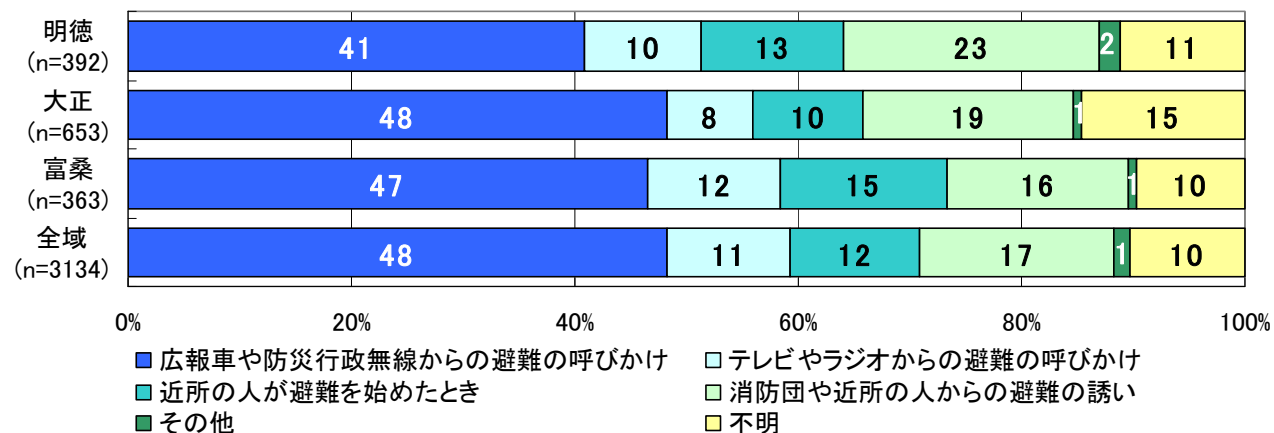
(問)風雨が強まり川が増水しています。外では広報車が避難を呼びかけています。あなたはどうしますか？次の中から1つお答えください。

→直ちに避難する人が35%、避難の準備を始める人が52%



(問)あなたが避難を決心する場合の決め手は何ですか？次の中から1つお答えください。

→避難の決め手として、広報車や防災行政無線からの呼びかけが48%、消防団や近所の人からの誘いが17%



※詳細なアンケート結果は会議にて配布します。